

# 見直せ！メンタルなハイカラ神戸の源流

□座談会出席者 ▲敬称略・順不同

葦原

博之

(サノヘ社長)

大内

信行

(マルダイ社長)

永田

耕一

(永田良介商店社長)

米谷

玲子

(神戸服装専門学校校長)

植村

孝一

(マック社長)

大島

智恵

(ベニー毛皮店店長)

平成元年の春四月、神戸市制100周年を迎えた。

開港120年のミナト神戸は、世界との接点の中から、"ハイカラ神戸"の文化と伝統を育んで経済的にも発展して参りました。今月は"ハイカラ神戸"といわれる独自のカラーとセンスを持つ専門店の皆さんにお集まりいたしました。今"ハイカラ神戸の源流"とは何か、そして1989年のハイカラ・モダーン神戸とは何かを考え、神戸の専門店の方向と、神戸のファッショングループ文化への提言をお願いしたいと思います。

ハイカラ始まは旧居留地の商館や唐物屋から

葦原 昭和六年に親父が創業しまして私が元町に来たのが昭和八年、五十数年元町にこの面を晒しています(笑)。

当時は舶来という言葉ではなく、唐物屋が舶来品を扱う店の代名詞でした。神戸は外国人が多くたので唐物屋がたくさんありました。初めは雑貨屋でやがて洋品店になり専門店、ブティックになった。ブティックという言葉は無神経に使われていますが、本来頭の先から足の先まで統一ブランドで揃えられる店のことです。若い人は流行ばかりで正統的なものに目を向けないが、年配になると落着いたベーシックなものが欲しくなる。しかし正統的なブティックというのも難しいです。ブランドの人気が目まぐるしく変りますからね。

大島 神戸がハイカラな伝統を持っていることは確かにですが、商売となるとシビアで少しでも安ければ良いという関西特有の消費者です。特に神戸は情報が口こみで伝わり易く、正統な商売をしようと思うと儲けるつもりではできません。自分が何を売って行きたいのかという自分の願望だけで商売しているのが実態です(笑)。会社をあまり大きくしないで、お客様と個人的な繋りで



葦原 博之 さん



大島 智恵さん

植村 孝一さん

米谷 玲子さん

永田 耕一さん

大内 信行さん

やつてゆく、頑固でないと難しいと思っています。

**植村** マックは明治二十八年『まからず屋洋品店』として創業して九十五年目。親父の代からトラッドなメンズということです。でも、ハイカラの伝統にあぐらをかいていては駄目ですね。近頃、神戸のハイカラ伝統の生き抜きで活躍している店が少なくなつて来ています。何かというと家賃や地代が高過ぎてひどいです。商売を止めて貸すか、儲け主義になつて『良い店』という商売ができなくなつて来ている。ハイカラとか文化的な素養といふのは売り上げでは計れないわけですよ。センター街でも狭くてゴチャゴチャしていた時の方がハイカラだったし神戸らしい面白い店も喫茶店もあった。今のようないくつかの店は独自な意図地な店をやつて欲しいですね。

**大内** 私の店はボタン屋で、昭和七年に生田神社の横に店を出したのが初めて五十七年経っています。正直言って儲からないボタンで続けて来ているということは頑固にやつて來ると言えると思います。(笑)

父は「ボタンと歩んで六十年」という本を出していまして、浜で仲買人がドンゴロスの袋に様々なサイズの貝ボタンを詰めて○○グロスという単位で相場を張るところで、商社からの検査員をしていました。日露戦争が始まると、ドイツ商館とイギリス商館のオーナーがテリトリリーを賭けて、勝るのは日本かロシアかと賭けをしたんでした。それでテリトリリーを渡して傷心を抱いてドイツに帰ってしまった(笑)。そこから父はいろいろやつて、神戸の山の手から海岸まで自転車でボタンを行商して歩いたわけです。これ、眞実の話でございます(爆笑)。

伝統と流行について考える時、流行は螺旋階段状の動き方をするものだという説があります。時代の経済的・社会的・空間的なものの変化につれて、一九二〇年代

の、あるいは三〇年代のというように、先の時代の伝統と流行の影響を受けながらクリエイティブに発想され、ライフスタイルに合った形で具象化されて発表されるので、螺旋階段状に変りながら回っている。こういうボリュームをもつて商品を集めてやつて行かない店を続けるという伝統も守れません。

### 商いはギャンブルよりスリリング

葦原 先日、NHKテレビでボタンをイヤリングやブローチなどいろんな使い方をしているのを見ましたよ。

大内 これからは一つの素材の用途を限定せず、マルチ的に開発してゆき、商売人もファッショニの動向にスピードに正確に対応してゆかなければなりませんね。ビジネス・イズ・ゲーム。おまえはギャンブル好きか、と言われそうですが(爆笑)。商いや事業は人間が作り出した世の中で一番複雑な、かつエキサイティングなゲームだと思います。

葦原 名言ですよ(笑)。

大島 実際、毛皮なんてほとんどギャンブルの世界ですから、ラスベガスなどに行つてもギャンブルをする気になれない。自分の仕事でギャンブルをしているという感じですから(笑)。

葦原 私が最初にヨーロッパに買付けに行ったとき、「おまえ、どんなつもりで物を買うて来たんだ?」といふ親父に「博打や」といつてごつい怒られたんですわ(笑)。半年も先にヒットするかどうか、分かっていれば損する馬鹿はいないが、目新しいものを持って帰りたい気持があるわけです。仕入れに行く人間によつても變つてくる。若いものが行つてロタのジーンズを仕入れた時、「セコハソ売つとのか」といわれたけれど二年ほどしたら大流行ですからね。

今から三十年前、英國のバリー社とボタンのことで喧嘩をしたことがある。カシミアのセーターに貝ボタンをつけるのが決まりだったが、セーターもアウトウェア一

### ファッショニを意識して一層伝統を大切に

——米谷先生はいかがですか、

米谷 六甲で神戸服装専門学校は人材育成の学校として創立四十三年、私が二代目ですが、ハイカラな神戸のイメージで中・四国・西日本から憧れて生徒が集まるという地の利があります。ポートアイランドなどの超近代化のある中で、なお心の通つた都市の感覚があるからでしょうね。神戸に居て良かったと誇りに思つてゐるんです。その中で学校経営も、事業内容が良くてもP.R活動や設備投資が必要で、やはり思いきつて賭けてゆくことが必要な時になつていますね。

大島 生徒さんはプロを目指していらっしゃいますか?

米谷 そうです。大半はファッショントゥーンの中のアパレル企業にデザイナー、パタンナーとして就職します。かつては花嫁修業が多かつたんですが、ここ十五年ぐらいいファッショントゥーン都市宣言以来、ビジネスに結びつく勉強を要求されます。確かにファッショントゥーン都市宣言は方向づけになつて意識が変りました。しかし、ビジネスばかりではなく技術も大事で、そのかねあいがむずかしいですね。オートクチュールの伝統、路線を理解できるところまで技術上でも通過して良い服作りを体験させないと満足感は得られません。また、芸術的に観賞できる服作りの技術と能力と審美眼を養つて、初めて良い服作りができるしデザインの発想もできるんですね。オートクチュールの伝統の一朝一夕にはできない感性を無視すると、薄っばらぬ奥行きのない、上辺だけのものになります。それは神戸の伝統を大切にすることが素晴らしいということと同じです。

大内 時代のおしゃれはモガ、モボとかの欧米の影響ばかりでなく、婆沙羅とか江戸時代の伊達とか、皆その時代の先端の現象です。伝統とクリエイティブという両方のラインの影響を摂んで、商品に生かせたらと思いますね。

### 塩飽列島の舟大工が造った初めの洋家具

——神戸でハイカラの伝統を直に継承されている永田さん、いかがですか？

永田 去年、私が五代目になりまして百八八年ですが、一番ハイカラだったのはじいさんの頃で明治の終りから昭和の始頃、外国文化を摂り入れてこなし始めた頃ですね。今は嘗みくだいてしまって「うちの家具」になり、ヨーロッパ風の家具といわれているけれど、うちでしか作れないし買えないものを頑なに作っています。神戸つ子二月号の石阪春生さんの伯父さんの家の家具、あるいは婦人画報に出た芦屋の稻畠邸の家具、全部うちのクラシックといえる家具ですね。知らんかった(笑)。また二十年前、東京の白木屋に進出した時は、とても手のこんだものだったので、東京のお客さんの永田の家具のイメージが出来た。装飾性を落してどこにでも合わせられるものを作つたら怒られるんです。昨年末、凝つたものを作つて出しましたら売れ出しています。元々あつたオリジナルラインを見直して引きずり出すのが必要になつています。

葦原 神戸のオリジナルの追求は大事なことです。我々はヨーロッパ文化を受け入れて育つて来て、戦後アメリカの影響があつたが落着いてくると、またヨーロッパ風の飽きの来ない良さを求めているのですね。

永田 ルート調べをしましたら初代は岐阜から出て居留地の商館に勤めて便利屋をしてたんです。外国人がヨーロッパから来る時、家具などを全部持つて来て帰る時は置いて行くのを引き取つて小売したり、修理を請負つたりしたんですね。その頃塩飽列島の伝統的な和船の舟大工が、洋船に変つて仕事がなくなつて流れて來ていたの

で修理をさせながらコピーを作らせたりしていた。そのうち便利屋を止めて洋家具屋になつたんですが、ビンの回収とか何でもやつてたんですね。古道具屋の鑑札もつりこの間までありました(笑)。

大内 永田さんで先端を行つた考え方をされてたと感じるのは、アフターサービス、アフターセールスを徹底してやつてることですね。売つた後がおつき合いの始まり、という商いの伝統を持つておられることです。

——神戸にあつたオリジナルを考え直そうというお話ですが、植村さんのところではいかがですか？

植村 神戸のハイカラの伝統がオリジナル商品で引き継がれて来ているということですね。店の百周年に向けて何かしようという時、やはり僕も考えていることは小売が作るオリジナルということです。マックートラッドというのがお客様のイメージだということがはつきりし、より一層トラディショナルなファッショングのオリジナル商品を開発して、マックでしか売らない、買えないものを作りたい。開発して、そこそこ成功するとすぐ一般に卸す、というのはアパレルメーカーの下請化です。しかし今、ファッショングは完全にアパレル主導で都心のあたりはほとんど直営店ですね。神戸のファッショングはハイカラ文化・伝統・独自性を売り込んでどんどん伸びています。しかし全国規模、世界規模になりますと、やはり神戸だけの独自性は薄れています。

小売店はアパレルメーカーの下請けになつてノウハウを盗むか(笑)。オリジナル商品を作つて対抗するか、サジノへさんのように品揃えで他にない商品を探してオリジナリティを出すかこの三つしか生き残る道はないと思うんです。マックもこの三つの路線を行くわけですが、一番力を入れたい商品開発でノウハウを持った人材が欲しいんです。どこで探したら良いかも分らなかつたんですね。谷谷先生、是非学校で小売店のオリジナルを生産したいという人材を出して下さい。

米谷 こちらこそよろしく。

葦原 ええのう！（笑）

植村 またこれから神戸の小売は、神戸の伝統による感性を含めた販売方法で神戸らしさを出す必要がありますね。物だけ個性や伝統を作るには難しい。オリジナル商品というハードとサービスというソフトが相まってゆかなければならない。しかし、結局人材難でかけ声ばかりですわ（笑）。

葦原 中小企業は人を入れるのが難しくなって来ています。うちでも二十年ぐらい居る人ばかりでその下が育たない。ある程度成功して落着くと攻撃精神がなくなってくるんですね。それで時々集めては怒鳴り倒すのですが（笑）。私はまだまだ飽き足らないのだと言つてクレージュの店を羽毛布団の店に変えたんです。世界のホテルを泊り歩いて研究して、ホテルゴーフルリツツさんではうちの羽毛布団を採用していただきましたけれどね。

### ステイタスを高めソフトの充実で心温まる街に

——羽毛布団なら泊まりに行きたいな、というような附加価値をつけてゆくのが大事な時代になつて来ますね。

最後に神戸の行政に対し何かござりますか？

葦原 六十年も百年もかかってやつて來た我々市民の店を大事にして欲しいですね。他からの店があまり増えると伝統を守る店などやれなくなります。これ以上店は要りますか？それよりもっと憩のある街を作つて欲しい。

大島 神戸市がファッショントリ都市というなら、物を売るだけがファッショントリではない、それは街の魅力ですよ。街を歩いている人や、その人のファッショントリ、レストラン、背景などです。土木や建築はしていても音楽ホールがないし、中身を充実して背景も美しくして行かないと思つた神戸市とはいえないと思います。

植村 神戸市に人が住みたいと思うのは街の醸し出す雰囲気でしよう。街のハードとふれあう人間ですね。感じの良い人になるにはやはり良い住環境が必要です。これは民間ではでき難いので行政が力を入れて欲しいです

ね。今はハードというと即、売り場とホテルですから。

永田 ファッショントリ都市というからには、それなりに洗練されたハイレベルのものを提供して行かなければならぬし、買う人が居ないといけない。阪神間や元町、都心のあたりに良い家を作つて人が住むようにすれば、買いう人が居るから良い店もできる。神戸をそういう街にして行かないと、ファッショントリという産業で神戸市は生き組みを作るんです。元町は風景も最高やし便利ですから。元町といえばルイ・ヴィトンなども店を出してくれたし、そういうものが凝集して来ると街にステイタスが出て来ますし、人もそういう人になつて来る。

米谷 山を削るのは、もうこれぐらいにして欲しいですね。ハイテクゆえに、失われるものがあると思います。

ヨーロッパ調の手造りの家具が見直されたり、エスニックファッショントリが急激に流行したのも自然を取り入れた手作りのぬくもりがあるからですね。神戸市も伝統ある街並みを維持することなどに力を注いでいただきたい。住吉川のモノレール、便利にはなるんでしょうが、景色が壊れたことは残念なりません。

大内 商業集積をこれ以上増やしてすぐお金になるというのではなく、他から来られた方が神戸はさすが伝統に磨かれて洗練されたお店が数多くあるな、センス、サービスも素晴らしいな、と満足を感じるようなメンタルなソフト面にお金を使つていただきたい。神戸は商業と観光の二つのラインですから、観光やショッピングを案内しP.R.できるよう指導や地図を作るなどのサービスを大事にして、と観光と商業の相乗効果をもたらすことです。——原点に戻ればメンタリティーが神戸の良さだったような気がします。今日は楽しいお話、辛いお話などたくさんうかがい、ありがとうございました。

田崎真珠株

取締役社長 田崎 棲作  
神戸市中央区港島中町6-3-2  
TEL (078) 302-3321

オールスタイル株式会社

取締役会長 川上 勉  
神戸市中央区港島中町6丁目5-1  
TEL (078) 303-3311



キャンペーン「国際文化都市神戸を考える」の  
企画は以上各社の提供によるものです。

□神戸市制百周年記念事業  
神戸市立須磨海浜水族園

話題のひろば

&lt;I&gt;

# イルカラライブ館 オープン!

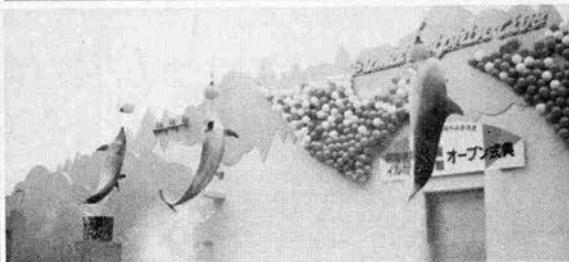
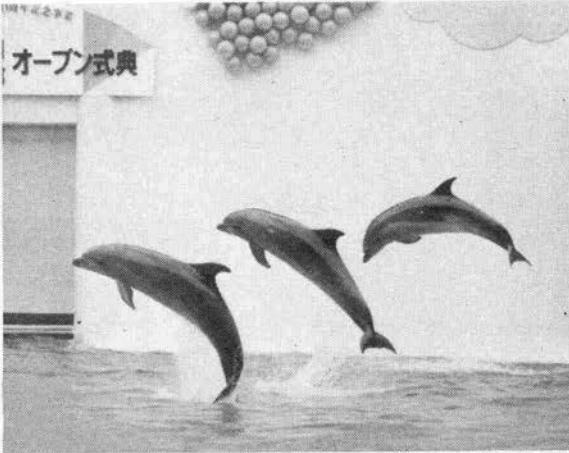
神戸市制百周年記念事業の一つとして、整備が進められていた、神戸市立須磨海浜水族園のイルカラライブ館が完成し、三月二十七日、オープン式典が午前十時より行なわれた。

当日はあいにくの雨となつたが、宮崎辰雄神戸市長ら関係者の他、近くの幼稚園や小学校の子供達が招待され、初めて見るイルカの演技に観客席を備えている。

同ライブ館は、広さ千三百平方メートルの鉄筋コンクリート造りで、ショーピール、トレーニングプールの他、千七百人程度を収容できる観客席を備えている。

イルカラライブとは、イルカの特性である音への反応の良さ（エコロケーション）やジャンプに代表されるダイナミックな演技と人懐っこさを生かし、観客参加による人とイルカの“ふれあい”を大切にしたショーで、同ライブ館では八頭いるバンドウイルカのうち三頭が登場、しゃれたコスチュームのコンパニオン“ドルフィー・ラヌ”とともに、ハイジャンプ、ランディングなどの演技を楽しむてくれる。

同水族園は、人と水族との生き物同士の出会いを大切にした公園として誕生、人気を呼んでいるが、ライブ館の完成で、また新しいライブセッションが奏でられる。



右(上・下)見事の一言・ジャンプ・ジャンプ・ジャンプ 左(上)宮崎辰雄神戸市長による除幕セレモニー (中)ライブショーに花をそえる、コンパニオン“ドルフィーヌ”のみなさん (下)イルカの演技に子供達も大はしゃぎ

話題のひろば

<II>

□ 5月竣工式を前に

## 大石社長内入会 ホテルオークラ神戸



右上は大石社長が宮沢常務などスタッフ紹介。神戸西ロータリークラブも事務所をホテルオークラ神戸に。大石社長を囲んで(左上) 藤本統紀子さんもお祝いにかけつけて、打ちソバで乾杯。野村そごう店次長、上島珈琲社長も四十七士のメンバーになって乾杯。

大石社長は勿論大石内蔵之介。大石主禱は、宮沢常務と、皆それぞれ趣好をこらした粋な出で立ち。堂賀のおやじが、ソバを仕上げて塩見まんじゅう、日本酒が出る。「東京からやってきた私共のためには、親切と人の和を大切に、神戸のオープニングにそなえたいのでご協力を」と、アットホームな神戸らしい集いに感激の面ちであった。

“風さそう 花より団子と我も又  
オークラ神戸に、誰と泊らん”  
と、朗々と声をあげて生田神社の  
加藤官司が、祝詞の後に一句をご  
披露。やんやの喝采をあびた。  
三月十五日の午後六時半より、  
加納町の“婆婆”(森川洋子ママ)  
の店内において、ホテルオークラ  
神戸大石邦雄社長の、就任を励ま  
そと、有志による集いが開か  
れ、約七〇名が相集つた。

大石社長は、東京から精銳四十  
七士のベストスタッフを引きつれ  
て、五月十二日の竣工式と、六月二  
二日の開店に向けて全力投球中だ  
が、初めての関西エリアの出店と  
あつて、スタッフと共に泉岳寺詣  
りをし、毎年十二月十五日の夜打  
入会を恒例にしている“婆婆”で、  
ママ手づくりの四十七士の陣羽織  
を着ての内入会とあいなつた。

話題のひろば

<III>

# □兵庫大仏平成に再建—能福寺 待望の大仏つあん



＜上左から＞・大仏再建地鎮祭法要の様子。大仏尊像原型

＜下左から＞・地鎮祭を迎える関係者の想いもひとしお。雲井世雄住職による地鎮の儀式。奉賛会会長の金井元彦・元兵庫県知事

・大仏さまのお勧め  
　一人でも多くの方に大仏作りに参加してほしいとの願いから寄進用の銅版を考案し  
ました。大仏像の一番大事なお顔・頭部を  
鋳造するためには、200万円。詳  
しくは能福寺内大仏再建奉賛会事務局  
までTEL 076(65)1715

新しくなる兵庫大仏は、高さ十  
メートル（台座共、總高十七メート  
ル）重さ五十トンとなる。完成は  
平成三年春の予定。

四十五年ぶりに兵庫大仏再建計  
画が進んでる、神戸市兵庫区北  
逆瀬川一の能福寺（雲井世雄住  
職）で二月二十八日、待望の大仏  
台座造営の地鎮祭が行われた。  
兵庫大仏は、明治二十四年、兵  
庫の豪商南条莊兵衛の寄付で建立  
された高さ八・五メートルの大き  
な青銅仏。『兵庫の大仏つあん』と  
呼ばれ、広く神戸市民のシンボル  
として親しまれていた。しかし、  
第二次大戦中の昭和十九年、金属  
回収令によって供出、解体され、  
台座だけを残した状態となつた。

戦後幾度か再建の話も持ちあが  
つたが、資金の面などで折り合い  
がつかず、再建は実現しなかつ  
た。五年前に地元商店街などの後  
押しもあって「兵庫大仏再建奉賛  
会」（金井元彦会長・元兵庫県知  
事）が発足、再建計画が具体化して  
きた。「やっとここまでこぎつけ  
たという感じです。しかし、マラ  
ソンに例えれば、まだまだスター  
トしたばかりで、これからがたい  
へんです」と、雲井住職。

■アシックス四十周年と

鬼塚喜八郎さん叙勲を祝うパーティー

話題のひろば

<IV>

## 健全な精神は健全な身体に：



(上左)あいさつに立つ鬼塚さん (上右から)祝いの言葉を述べる宮崎市長、貝原知事、石野会頭 (中)朧月堂・下村社長、ワールド・木内会長、伊藤ハム・伊藤社長他とともに (下右)松本さんの舞 (下中)望月さんの動の書 (下左)お祝いにかけつけた渡部さん

華やかなバツクグランデミュー  
ジックが流れなかを、レーベー  
光線が飛びかうという、いかにも  
国際的企業アシックスらしいオー  
プニングが始まつたのが、3月10  
日、神戸ポートピアホテルで13  
00人の出席者を集めて開かれた  
同社の「創業四十周年・鬼塚喜八  
郎叙勲謝恩パーティー」。司会を  
務めたのはサンテレビの村上和子  
さん。

オープニングに続いて、今度は  
一転して、しつとり日本的に、地  
唄舞の松本尚蒔さんが、大和樂  
“あやめ”を踊る。そして望月美  
佐さんの動の書へと続き、望月さ  
んは鬼塚社長のモットー「健全な  
精神は健全な身体にやどる」をス  
テージで書き上げた。

いよいよ鬼塚社長があいさつに  
立ち、年齢を感じさせない朗々と  
した声で「まだ戦後の混乱の残る  
日本で、非行に走る少年を、何とか  
スポーツを通じて立ち直らせたい  
一心だった」という、創業時の  
話を披露。出席者に深い感銘を与  
えた。

そして祝いの言葉が貝原兵庫県  
知事、宮崎市市長より述べられ  
た後、石野神戸商工会議所会頭  
が乾杯の音頭を。

なごやかな会食の途中、フィギ  
ニアスケートでおなじみの渡部絵  
美さんがかけつけ、鬼塚社長にキ  
スをする一幕も。またよせられた  
祝電も、竹下首相、サラマンチ I  
OC会長など多彩であった。

話題のひろば

&lt;V&gt;

# ユニークな“神戸学” 甲南大学に開講

ふまじめなタイトルでまじめな  
神戸学を——との呼びかけが発端

で「神戸っ子のこうべ考」という

講座が、甲南大学に4月10日から

お目見えすることになった。経済人、文化人、宗教家など神戸やその近辺に在住するさまざまな分野で活躍中の人が、それぞれの立場から神戸について自由に論ずると



辻田 忠弘さん

いうユニークな試みで、学生の人気を集めそうだ。

仕掛け人は同

大学理学部教授・辻田忠弘さん。

講師陣は上島珈琲社長の上島達治さん、沢の鶴社長の西村隆治さん、彫刻家の新谷秀紀さん、生田神社宮司の加藤隆久さん、サンテレビディレクターの村上和子さんら多彩な顔ぶれ。

まず辻田さんは「神戸考概論」として全体の案内役を務める。国際的でスマートで、どことなくきどったところがある半面、港街と紹介すると――

として全体の案内役を務める。国際的でスマートで、どことなくきどったところがある半面、港街と紹介すると――



新谷 秀紀さん



加藤 隆久さん



西村 隆治さん



上島 達司さん

して泥臭さのある神戸が“世界中で一番好き”という辻田さんの熱意と聴取りに期待しよう。  
上島さんは「神戸とコーヒー」を歴史的、風土・地理的、文化的な視点から論ずる。輸入第一港であるとともに発信基地でもある神戸。個性化・高級化・ファッショニ化していくコーヒーカルチャー。伝統

と機能を有する神戸ならではの講座といえよう。

西村さんは「神戸と酒」をテーマに日本酒の魅力

の味——洋菓子は、いまや食文化の極みとさえいわれる。「神戸と洋菓子」をテーマに村上さんが、暮らしとのかかわりも含めて面白い講義をしてくれそうだ。  
さらに、伊藤ハム社長の伊藤研一さんが「外国人の見た神戸」をテーマに日本酒の魅力である灘の酒の特徴と歴史を紹介しながら、酒の利

の空間に設置されている彫刻も28余点を数えるなど、緑と彫刻のある街づくりに取り組んできた神戸。新谷さんは彫刻家の視点から「神戸と芸術」を論ずる。加藤さんは「神戸における神と人の出会い」について、神戸の風土・文化の特質を考えながら、神戸と宗教のかかわりを説く。国際宗教都市でもある神戸の一面が浮かび上がる。

神戸ビーフ、灘の酒と並ぶ神戸の味——洋菓子は、いまや食文化の極みとさえいわれる。「神戸と洋菓子」をテーマに村上さんが、暮らしとのかかわりも含めて面白い講義をしてくれそうだ。  
新谷さんが「外国人の見た神戸」をテーマに日本酒の魅力である灘の酒の特徴と歴史を紹介しながら、酒の利の等々について考察する。市内の公共

り、酒と人生等々について考察する。

神戸を心から愛する人々が自分の思うままに論じ、あらゆる側面から総合的にとらえることで、神戸の魅力がまた一段と冴えてくる

話題のひろば

<VI>

## 神戸のエスプリ



村上 和子さん

ハイカラ神戸のイメージの一つ洋菓子を、盛りだくさんのイベントと共に味わおうという催しが、五月三日（水）～五月九日（火）のゴールデンウィークに大丸神戸店で開かれる。

“神戸市制一〇〇年記念・第二回洋菓子天国 K O B E”（主催・神戸観光キャンペーン推進協議会）。昨年の第一回が好評で、神戸での洋菓子の人気の高さから五万三千人の入場者があった。今年はさらに充実して、神戸市制一〇〇年記念イベントの一つとして、地域あげての催しになる。

サンTVのディレクターで「洋菓子天国 K O B E」の著者、村上和子さんの監修により、洋菓子の名匠達二十四人の力作が勢揃いする作品展は、神戸洋菓子作りの伝



藤田 康夫さん

前田 昌宏さん

安藤 明さん

(オリエンタルホテル (スイス菓子ハイジ))

今西 明さん

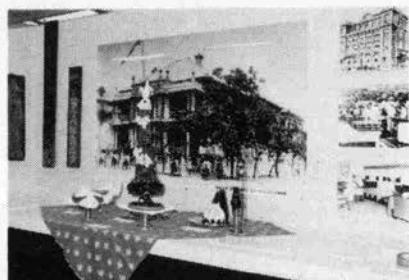
(神戸ポートピア (ホテル))

フィリップ・ビゴさん

(ビゴの店)

ハリー・フロインドリーブさん

(H. (フロインドリーブ))



居留地のティータイムのイメージ

の妙技を披露。一方、旧居留地の人々のティータイムをイメージして作られたティーサロンでは、ケイキと本格的な紅茶を味わうことでき、当時を彷彿させるお菓子やティーカップの展示もある。代表的な店による洋菓子店街も出現するのでファッショナブル神戸のゴールデンウィークに欠かせない魅力的なゾーンになりそうだ。

プリを見せてくれる筈で、名匠の腕の冴えが見もの。また市制一〇〇年記念として、県洋菓子組合会員の共同制作で、“お菓子で作った居留地の街並”(仮称)を作り、旧居留地や開港当時の港の景色が甘い香りを漂わせて再現される。さらに会場には実演コーナーが設けられ、名匠達が日替りで作り方教室と、こういうイベントでなければ見られないデコレーション

# KOBE FASHION SPOT

## LET'S BEGIN GOLF

元町のレディースゴルフ専門店「パティー」は今、カラフルなゴルフウェア＆グッズがディスプレイされている。やまとと寛齊のゴルフウェアコレクションのレディース版、寛齊レディースがデヴューしたのだ。本來の寛齊の鮮やかなカラーパターンと違い、少しドットを押えたカラーになっている為、カジュアル・ルックとしても充分楽しめる。



色づかいが楽しみな  
“KANSAI レディース”

「辞」と題したテーマで、パリの美しさ、女性達、芸術家たちの粋なエレガンシーを随所に見せたショードだった。

一番印象的なのは、ベージュのスーツの長目の衿元や、ワンピース（真紅・水玉のドレス）の深いV字の衿元が、ブラジャーなしでハッとする新鮮なお色気。膝上丈の絹やかさ、大きなオーガンジィの白い衿など、シックな中に若々しさを感じさせていた。色は、ネイビーブルーとホワイト、ブラック＆ホワイト、または柄柄やドット、幾何学柄で地味目。

「ミオス」は、ペリー・エリス

■同時オープン  
さんプラザ3Fの「まさ」が3月2日、大きめイージーデザイン。上品な色づきで評判の「ペリー・エリス」、そして袖戸で初めてデビューするブランド「ミオス」の2店展開になった。

「ミオス」は、スタイリングハウスの概念を持つ新タイプのショップ。ファッティング・アナリストと呼ばれるアドバイザーに着こなしながらアフターケアまで全てお任せ。35歳前後のニューリッチミセスを対象に、スタイルしたが、オープント約2ヶ月、ミセスだけでなくエレガントな大人のファッションを始めた。ペリークラスからの贈りもの。春物の中では、やはりスカートが今一番人気があるとか。素林の良さも見逃せない。サイズで悩んでいるあなたも「ミオス」でベストコーディネートを！



しなやかなライン  
大人の女性に贈る Mios



「サンサカエ」  
春夏コレクションより

人気の「サンサカエ」の春・夏物のファッショニショードが、3月8日、新神戸オリエンタルホテルで開かれた。今回はイタリーより直輸入のGIORGIO GRATTIを中心とし、「地中海をメインテーマとして、70点が披露され、冬に逆戻りしが通り抜けた。

上質のウール・シルク、また夏物には綿・麻・シルクと天然素材の良さを生かしたシンプルなデザイン。春物のニットには、赤・白・紺・紺などのはっきりしたカラーが多い中で、淡いオレンジのワンピースの軽やかさが目立っている。

シックな雰囲気の中にも気どりのないファッションド、会場に併設された即売コーナーはショードが終わったあともたくさんの人で賑わっていた。

■本店 331-5121 レディース 31-7885

★ヒュアナード、描いてみませんか？

身近な動物やいろんなものをあなたの感性で絵にすれば、それがメルヘンイラスト。ハガキを利用したこのコンテストなら、手軽に楽しめるはず。審査員はカラーリングの魔術ジーランドをお待ちしてます。

●応募方法：イラストを描いたハガキを郵送。

表に住所、氏名、年齢、電話番号、勤務先、勤務先の電話番号を明記。●作品テーマ：自由、賞1名、優秀賞3名、入選50名、準入選100名。●応募期間：4月28日消印有効。●大講談社ビル5F「メルヘンイラストハガキ

■さんプラザ3F 「ミオス」 3322-27

■「ペリー・エリス」 331-0950  
「地中海」をお届けします

コンテスト」係 06(312)3072

春色コロンに、誘われて。



## '89 SPRING COLLECTION



serizawa  
KOBE

■本店 神戸市中央区三宮町3-1-8 TEL.078-331-1695 ■さんプラザ店 ■センター街店 ■さんちか店

■P-4ショップ KOBE・OSAKA・TOKYO・KYOTO・HIMEJI





 SOGO  
SANOMIYA KOBE

「ごめんなさい、先約があるの。」  
といふかわりに  
彼女は笑顔を  
残していった。

女性のエレガンスを追い求め、デザインする国際派クリエイター、ヴァレンティノ・ガラヴァーニのドレス。この春夏も、アルタモーダの大御所は、洗練されたコレクションをくりひろげます。

■(ヴァレンティノ・ガラヴァーニ/ミス V)ワンピース  
(ウール85%・ナイロン15%) ..... 195,000円  
(価格は、税抜き価格です。)

## WORLD RECEPTION

ワールドレセプション

Gian Versace



valentino garavani



erre uno

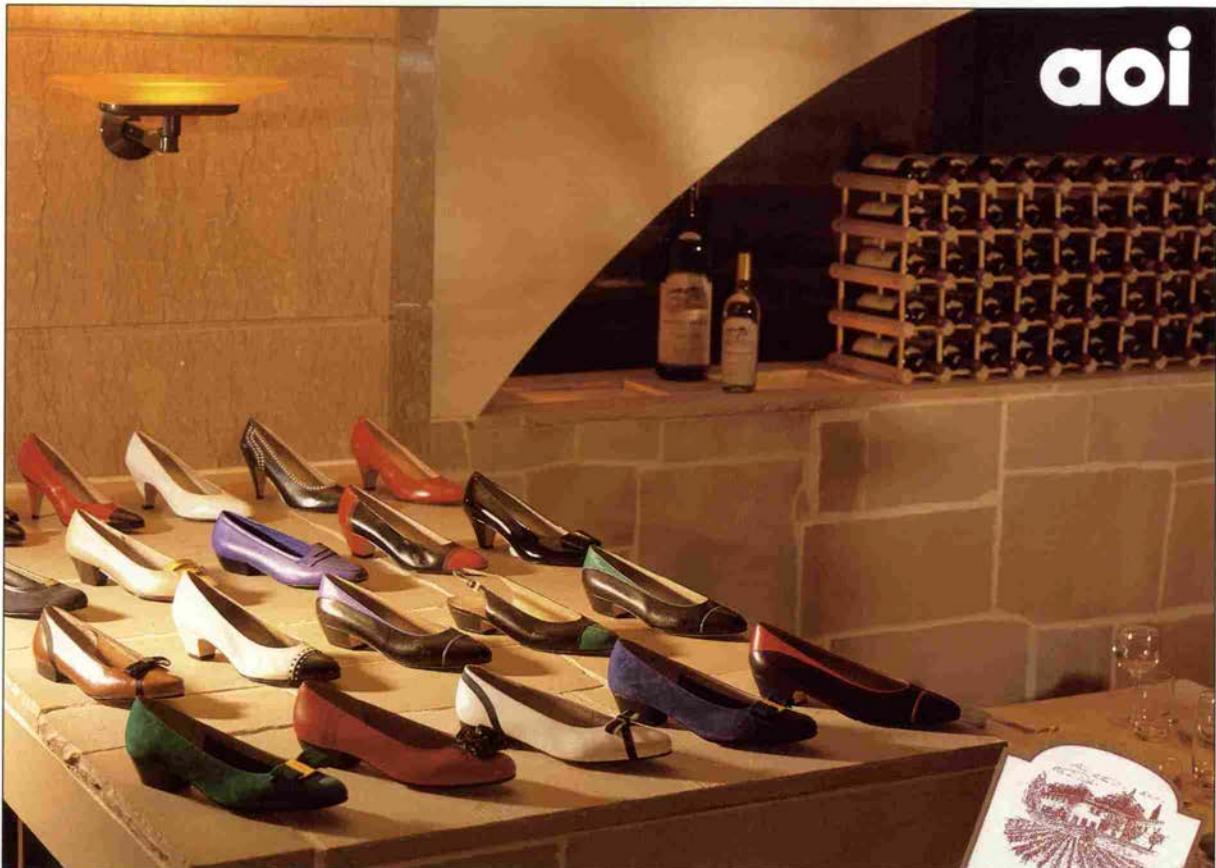
GIAN MARCO VENTURI

■本館3階

——〈ワールド レセプション〉——



aoi



Salvatore Ferragamo



お求めは各ブティックで、どうぞ。

● ブティック アオイ  
神戸市中央区三宮町2-11  
078-391-3985

● 大丸神戸店3F フェラガモ ブティック  
神戸市中央区明石町40  
078-392-7628(直)

● 大丸神戸店 ブロック30 ヴィンサント  
神戸市中央区播磨町20-1  
078-321-3100



春のひとしづくを、そつとすくつてみてください。  
春から初夏への彩りは、パールの輝きで.....。



Order Salon

株式会社 木下真珠

〒650 神戸市中央区山本通1丁目7-7(北野坂)  
TEL (078) 221-3170  
10:00AM~6:00PM 無休  
東京 / 赤坂・銀座・青山 大阪 / 心斎橋

※神田 宏 モダンジュエリーコレクション

4月20日~24日 10:00AM~6:00PM 於木下真珠オーダーサロン  
神田 宏先生の新作ジュエリー展です。ご来店をお待ちしています。



コパン・ワンピース(¥36,000)

# Fashion PROMENADE

Vol. 2

さんちか店のお客様  
上田理恵さん

重いコートの季節が終わり  
いよいよお洒落の春到来。や  
わらかな陽差しにつつまれた  
ウィークエンドとパステルト  
ーンの相性は抜群です。きっ  
と何かいいことがある、そん  
な予感がする午後。

——ポートアイランド・北公園にて

KOBE  
*MASA*

さんちか店 (078) 321-4545  
宝塚ファミリースター店 (0797) 73-5359  
千里阪急地下街店 (06) 831-0756  
須磨パティオ店 (078) 792-5652  
加古川店 (0794) 25-5514  
さんプラザ店 (078) 331-0950



ロマンティックを浴びる、時間。

18周年記念

# チャリティ 100円 ハーブ 薬草浴

4月20日(木)

朝10時～夜1時(受付は夜12時まで)

サウナ

薔薇のハーブバス

4/20㊱~30㊲ いつものハーブバスが模様変えします。

ハーブサウナ

冷水超音波バス

温水バイオラバス

マッサージシャワー

6つのバスの

サウナコース1,900円が  
この日だけ100円に!

PRESENT  
さらに、プレゼントや  
特典も、めれなく!

●当日みなさまからお寄せいただいたサウナ料金は、  
全額福祉施設に寄付いたします。  
100円以上いくらでも、あなたの気持ちをお寄せください。

サウナコース(通常)／1,900円

マッサージ／2,800円 オイルマッサージ／5,500円

ボディケア／3,500円～6,000円

フェイシャルケア／4,500円～5,500円

今日からきれい!

## 神戸 レディスサウナ

神戸市中央区下山手通2-2-10 ● 三宮生田新道ワシントンホテル向かい

営業時間 朝10時～夜3時  
年中無休

078-321-4742



# 神戸のお嬢さん 〈84〉

84

## 日本的で 淑やかなお嬢さん

林 佳代子さん

〈甲南女子大学  
文学部英文学科1回生〉

励まれ一昨年、お名取（藤間晃妃）さん

になられました。

日本的で淑やかなお嬢さん。佳代子さんが私のところへお稽古に来られたのが二歳か三歳の頃でした。まだ「右」も「左」も解らないあどけない幼女でした。

推 薦 者 / 藤 間 晃 義

〈藤間流舞踊師匠〉



カメラ・松原卓也

日本的で淑やかなお嬢さん。佳代子さんが私のところへお稽古に来られたのが二歳か三歳の頃でした。まだ「右」も「左」も解らないあどけない幼女でした。それから一七年間、一生懸命お稽古に励まれ一昨年、お名取（藤間晃妃）さんになられました。日舞だけでなく、水泳やお料理も得意な家庭的で明るく現代的な一面も持ちあわせておられる素晴らしいお嬢様です。将来は良き家庭を持ち又、日舞の若手ホープとして活躍なされる事を期待しております。

# 神戸のお嬢さん

〈85〉

おおらかで  
明るく美しく

百崎

実花さん(左)

〈大阪大学工学部勤務  
甲南女子大学  
文学部人間関係学科3回生〉

有紀さん(右)

（甲南女子大学  
文学部人間関係学科3回生）

皆様が甲南育ちの御円満なご家庭での  
びのびお育ちの御姉妹は、何の届託もな  
く実におおらかで神戸っ子らしく明るく  
ハキハキとした楽しいお二人です。

日本時代よりテニス、お菓子づくり、  
日本舞踊、華道など趣味も多く、又、最  
近は書道のお稽古も始められ、現代的な  
面と古風な面との両方を兼ね備えられた、仲の良い素晴らしい

推薦者／藤間吉登代

（藤間流舞踊家）



カメラ・松原卓也

